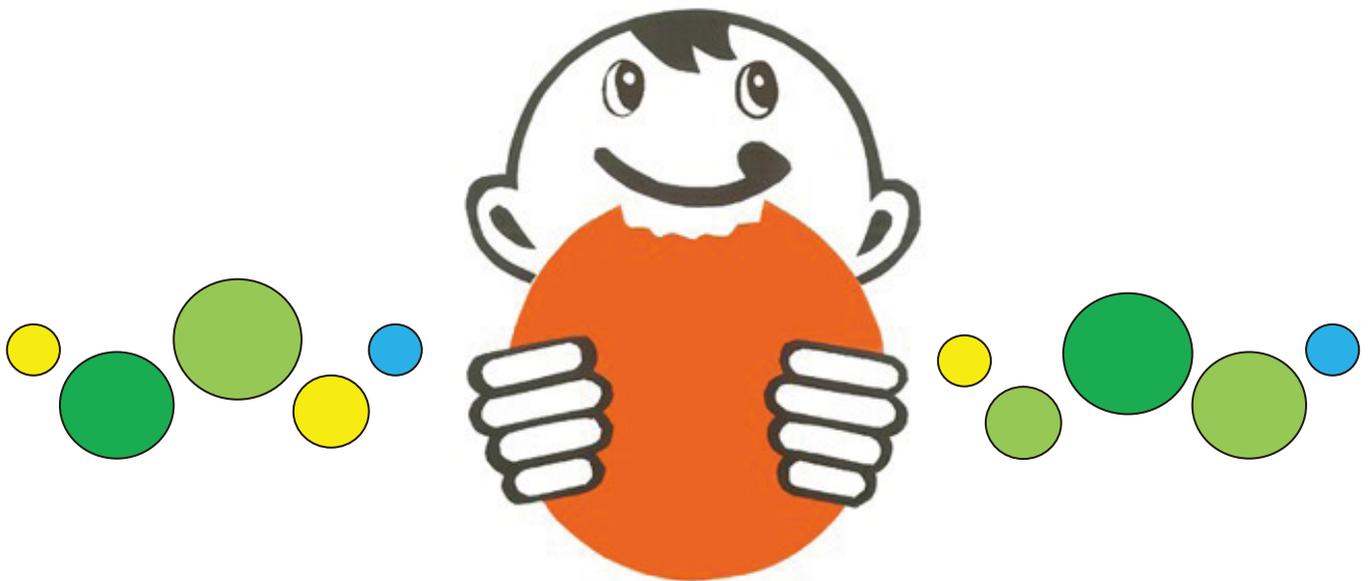


《草加っ子の基礎・基本》
算数問題集

算数スイスイ4年生

～小学校4年生で必ず身につけたい計算の力～

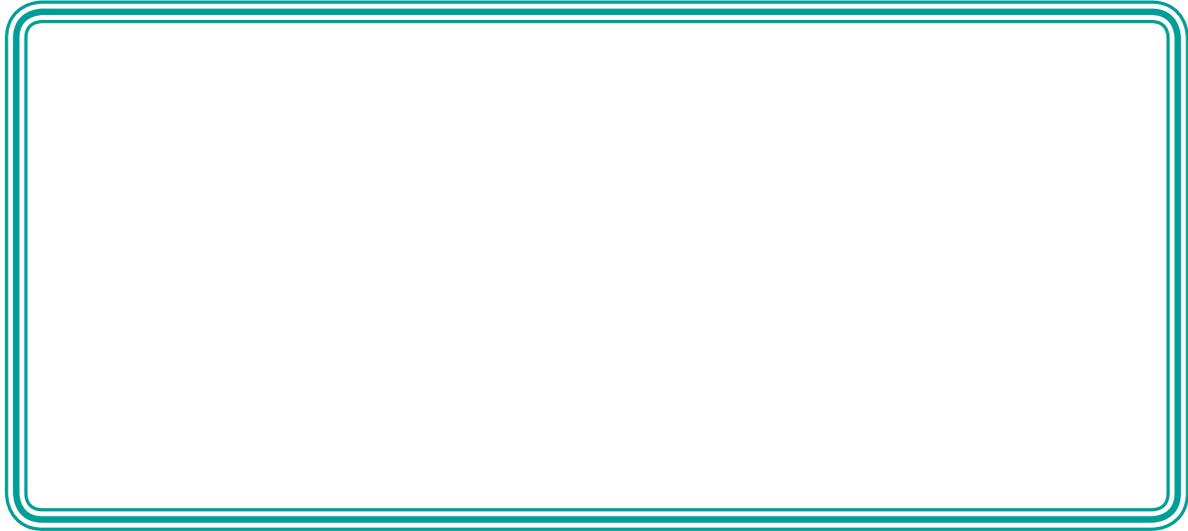


小学校 4年 組 番

名前

草加市教育委員会

めあてを書きましょう



保護者の皆様へ

「算数スイスイ4年生」について

算数は、学習してきたことを土台として学び、積み重ねていく教科です。そのため、今年度学習したことをきちんと身に付け、進級することが大切です。

この問題集は、草加市内の全ての小学4年生に基礎的な学習内容が確実に身に付くように、草加市算数・数学学力向上プロジェクトチームが作成し、市内全ての小学4年生に配布しました。

問題につきましては、「草加っ子の基礎・基本の基礎学力『計算』」で示される内容を中心に構成し、児童が自主的に取り組む中で、ポイントが分かるようにしました。

学習の終わりや学期、年度の区切りなどで繰り返し取り組むことで、小学4年生で身に付けるべき基礎的な内容が確実に定着します。

学校の授業や補習の教材としてだけでなく、毎日の家庭学習においても繰り返しご活用ください。

何十，何百のわり算

【ポイント】

10のまとまりで考えて，計算しましょう！

90 ÷ 3の計算のしかたを考えよう。

90は10が9こ

↓

$$\underline{9} \div 3 = \underline{3}$$

↓

$$\underline{10} \text{ が } \underline{3} \text{ こだから } 90 \div 3 = 30$$

1 計算しましょう。

(1) $60 \div 3$

(2) $40 \div 2$

(3) $90 \div 9$

(4) $90 \div 3$

(5) $80 \div 4$

(6) $80 \div 2$

(7) $120 \div 3$

(8) $450 \div 5$

(9) $640 \div 8$

(10) $540 \div 9$

(11) $300 \div 5$

(12) $400 \div 5$

(13) $200 \div 5$

(14) $100 \div 2$

【ポイント】

100のまとまりで考えて、計算しましょう！

600 ÷ 2の計算のしかたを考えよう。

600は100が6こ

↓

$$\underline{6} \div 2 = \underline{3}$$

↓

100が3こだから $600 \div 2 = 300$

2 計算しましょう。

(1) $600 \div 3$

(2) $800 \div 2$

(3) $400 \div 2$

(4) $900 \div 9$

(5) $900 \div 3$

(6) $500 \div 5$

(7) $1800 \div 6$

(8) $2500 \div 5$

(9) $7200 \div 8$

(10) $5600 \div 8$

(11) $2000 \div 5$

(12) $4000 \div 8$

(13) $1000 \div 5$

(14) $3000 \div 6$

わり算の筆算 (1)

【ポイント】

92 ÷ 4 のような計算は、十の位からじゅんに、
たてる→かける→ひく→おろすのくりかえしで計算します。

1 □にあう数を入れましょう。

92 ÷ 4 の筆算のしかたを考えよう。

十の位の計算

(1) 十の位の9を4でわり、商□を十の位にたてる。

(2) 4と□をかける。

(3) 9から□をひく。

(4) 一の位の2をおろす。

一の位の計算

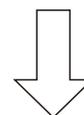
(5) 12を4でわり、商□を一の位にたてる。

(6) 4と□をかける。

(7) 12から□をひく。

① 十の位の計算

$$\begin{array}{r} 2 \\ 4 \overline{) 92} \\ \underline{8} \\ 1 \end{array}$$



② 一の位の計算

$$\begin{array}{r} 23 \\ 4 \overline{) 92} \\ \underline{8} \\ 12 \\ \underline{12} \\ 0 \end{array}$$

2 計算をしましょう。

(1)

$$8 \overline{) 96}$$

(2)

$$3 \overline{) 78}$$

(3)

$$7 \overline{) 91}$$

わり算の筆算 (2)

【ポイント】

あまりのある計算も たてる → かける → ひく → おろす のじゅんで計算します。
あまりはわる数より小さくなります。

(例)

$$\begin{array}{r} 24 \\ 3 \overline{) 74} \\ \underline{6} \\ 14 \\ \underline{12} \\ 2 \end{array}$$

わる数より
小さくなる

← 2 ← あまり

1 計算をしましょう。

(1)

$$8 \overline{) 98}$$

(2)

$$3 \overline{) 56}$$

(3)

$$7 \overline{) 92}$$

(4)

$$5 \overline{) 67}$$

(5)

$$6 \overline{) 73}$$

(6)

$$4 \overline{) 65}$$

わり算の筆算 (3)

【ポイント】

①十の位でわり切れたとき、
ひき算した0は書きません。

$$\begin{array}{r} 21 \\ 3 \overline{) 64} \\ \underline{6} \\ 4 \\ \underline{3} \\ 1 \end{array}$$

0を省略する →

②一の位の商が0になるとき、
商の0は必ず書きます。

$$\begin{array}{r} 20 \\ 4 \overline{) 83} \\ \underline{8} \\ 3 \\ \underline{0} \\ 3 \end{array}$$

0を省略しない →

1 計算をしましょう。

(1)

$$3 \overline{) 67}$$

(2)

$$5 \overline{) 58}$$

(3)

$$4 \overline{) 86}$$

(4)

$$8 \overline{) 86}$$

(5)

$$6 \overline{) 61}$$

(6)

$$7 \overline{) 74}$$

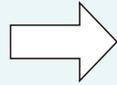
わり算の筆算 (4)

【ポイント】

846 ÷ 5 の筆算のしかた

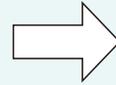
①百の位の計算

$$\begin{array}{r} 1 \\ 5 \overline{) 846} \\ \underline{5} \\ 3 \end{array}$$



②十の位の計算

$$\begin{array}{r} 16 \\ 5 \overline{) 846} \\ \underline{5} \\ 34 \\ \underline{30} \\ 4 \end{array}$$



③一の位の計算

$$\begin{array}{r} 169 \\ 5 \overline{) 846} \\ \underline{5} \\ 34 \\ \underline{30} \\ 46 \\ \underline{45} \\ 1 \end{array}$$

8 ÷ 5 で、百の位に商 1 をたてる。

$$8 \div 5 = 1 \text{ あまり } 3$$

4 をおろす。

34 ÷ 5 で、十の位に商 6 をたてる。

$$34 \div 5 = 6 \text{ あまり } 4$$

6 をおろす。

46 ÷ 5 で、一の位に商 9 をたてる。

$$46 \div 5 = 9 \text{ あまり } 1$$

1 計算をしましょう。

(1)

$$6 \overline{) 947}$$

(2)

$$7 \overline{) 991}$$

(3)

$$3 \overline{) 716}$$

わり算の筆算 (6)

【ポイント】

わられる数のいちばん左の位の数、わる数より小さいときは、次の数の位も入れて計算を始めます。

1 □にあう数を入れましょう。

258 ÷ 6 の筆算のしかたを考えよう。

百の位の計算

(1) 2 ÷ 6 だから、百の位に商はたたない。

十の位の計算

(2) 25 ÷ 6 の計算をして、十の位に商 □ をたてる。

(3) $6 \times \square = \square$, $25 - \square = \square$

(4) 8 をおろす。

一の位の計算

(5) 次に、18 ÷ 6 の計算をして、一の位に商

□ をたてる。

(6) $6 \times \square = \square$, $18 - \square = \square$

(7) 258 ÷ 6 の答えは, □

①百の位の計算

$$6 \overline{) 258}$$

②十の位の計算

$$\begin{array}{r} 4 \\ 6 \overline{) 258} \\ \underline{24} \\ 18 \\ \underline{18} \\ 0 \end{array}$$

③一の位の計算

$$\begin{array}{r} 43 \\ 6 \overline{) 258} \\ \underline{24} \\ 18 \\ \underline{18} \\ 0 \end{array}$$

2 計算をしましょう。

(1)

$$2 \overline{) 192}$$

(2)

$$4 \overline{) 312}$$

(3)

$$3 \overline{) 152}$$

しあげのもんだい

1 計算をしましょう。

(1)

$$3 \overline{)81}$$

(2)

$$6 \overline{)72}$$

(3)

$$6 \overline{)87}$$

(4)

$$7 \overline{)83}$$

(5)

$$4 \overline{)96}$$

(6)

$$5 \overline{)69}$$

(7)

$$3 \overline{)69}$$

(8)

$$5 \overline{)57}$$

(9)

$$8 \overline{)82}$$

(10)

$$2 \overline{)80}$$

(11)

$$9 \overline{)85}$$

(12)

$$7 \overline{)41}$$

2 計算をしましょう。

(1)

$$3 \overline{)762}$$

(2)

$$4 \overline{)482}$$

(3)

$$7 \overline{)989}$$

(4)

$$8 \overline{)875}$$

(5)

$$8 \overline{)567}$$

(6)

$$9 \overline{)611}$$

3 91 このスーパーボールを、1人8こずつ配ります。
何人に配ることができて、何こあまりますか。

〈式〉

【筆算】

答え

4 シュークリームを4こ買ったなら、632円でした。
シュークリーム1このねだんは、何円ですか。

〈式〉

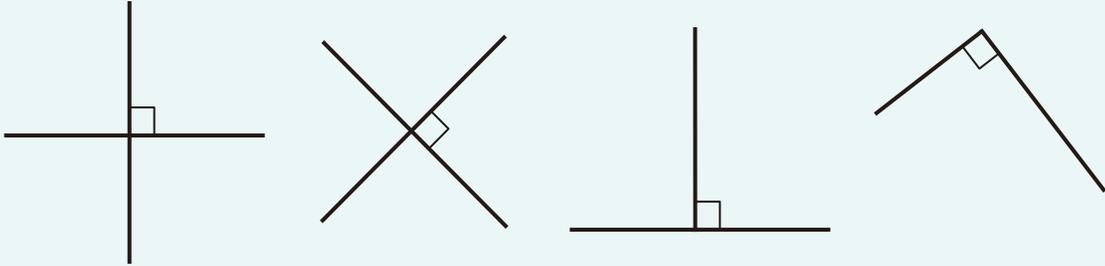
【筆算】

答え

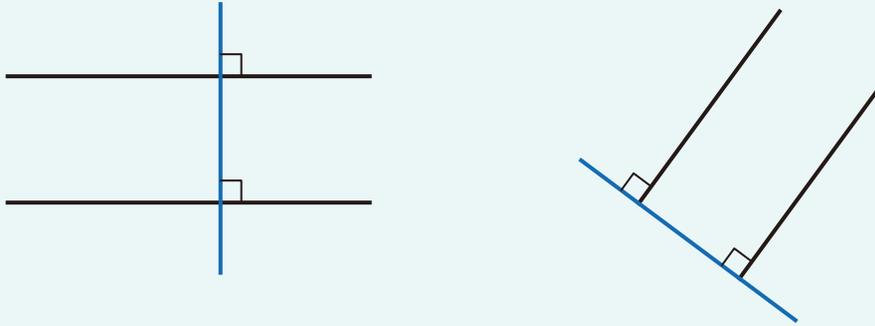
直線の交わり方・ならび方といろいろな四角形

【ポイント】

2本の直線が交わってできる角が直角のとき、この2本の直線は^{すいちよく}垂直であるといえます。



1本の直線に垂直な2本の直線は、^{へいこう}平行であるといえます。



1 □に当てはまる言葉を書きましょう。

(1) 向かい合った1組の辺が な

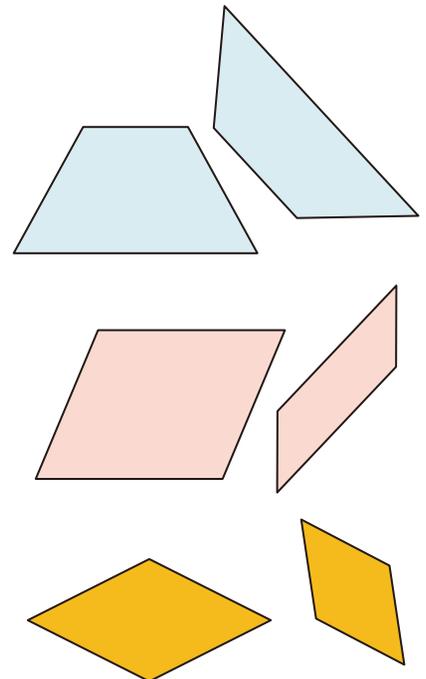
四角形を、 といいます。

(2) 向かい合った2組の辺が な

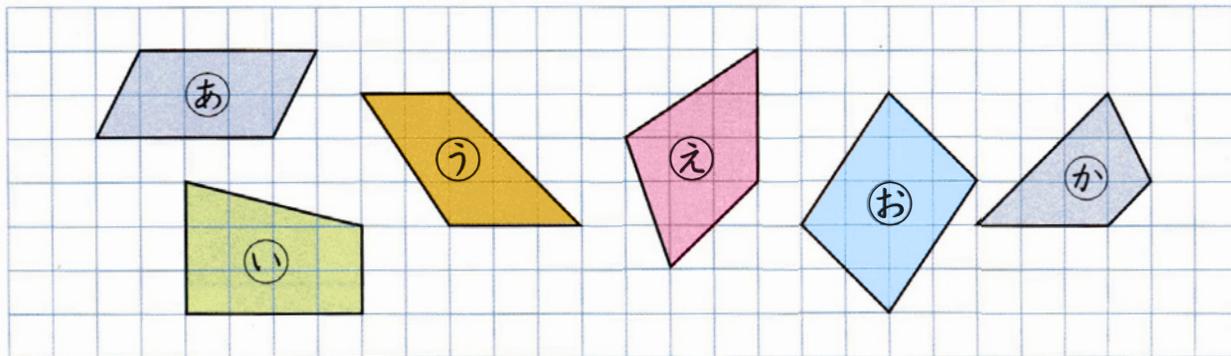
四角形を、 といいます。

(3) 辺の長さがすべて 四角形を

といいます。



2 下の図の中から，台形，平行四辺形を見つけましょう。

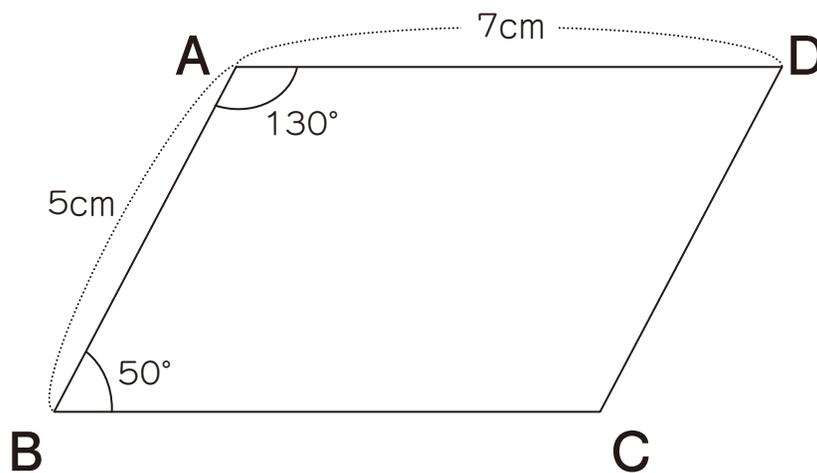


台形 ()

平行四辺形 ()

3 () にあてはまる数を書きましょう。

下の平行四辺形で，辺 BC，辺 CD の長さは，それぞれ何 cm ですか。
また，角 C，角 D の大きさは何度ですか。



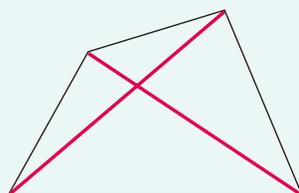
辺 BC (), 辺 CD ()

角 C (), 角 D ()

対角線と四角形の特ちょう

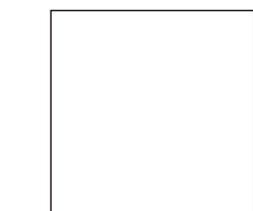
【ポイント】

四角形の向かい合った頂点をつないだ直線を**対角線**といいます。



1 下の四角形の向かい合った頂点を直線でつなぎ対角線をひきましょう。

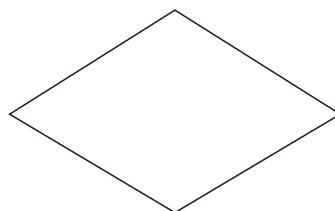
また、() に四角形の名前を書きましょう。



()



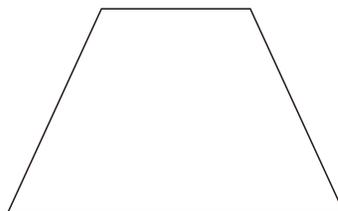
()



()

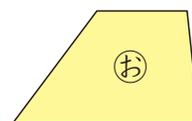


()



()

2 次の四角形を、㊦から㊯の記号で全部答えましょう。



(1) 2本の対角線の長さが等しい四角形

(2) 2本の対角線が垂直である四角形

大きい数のしくみ

【ポイント】

千万の10倍を一億，一億の10倍を十億，
十億の10倍を百億，百億の10倍を千億とといいます。

1 1億より大きい数を調べましょう。

(1) 下の表に数を書きましょう。

		千億の位	百億の位	十億の位	一億の位	千万の位	百万の位	十万の位	一万の位	千の位	百の位	十の位	一の位
1000万の10倍は	1億				1	0	0	0	0	0	0	0	0
1億の10倍は	10億												
10億の10倍は	100億												
100億の10倍は	1000億												

(2) 次の数を書きましょう。

	千	百	十	一	千	百	十	一	千	百	十	一
	億				万							
① 一億八千三百五万												
② 六百五億千五百一万												

【ポイント】

千億の10倍を一兆，一兆の10倍を十兆，
十兆の10倍を百兆，百兆の10倍を千兆とといいます。

2 千億より大きい数を調べましょう。

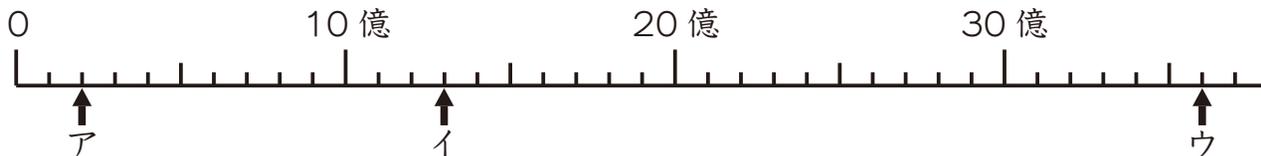
(1) 下の表に数を書きましょう。

	千兆の位	百兆の位	十兆の位	一兆の位	千億の位	百億の位	十億の位	一億の位	千万の位	百万の位	十万の位	一万の位	千の位	百の位	十の位	一の位
1000億の10倍は				1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1兆の10倍は																
10兆の10倍は																
100兆の10倍は																

(2) 次の数を書きましょう。

	千	百	十	一	千	百	十	一	千	百	十	一	千	百	十	一
	兆				億				万							
①	二兆五千六百八十三億															
②	四千四百三十六兆二百十九億															

3 大きな数を数直線で表しましょう。



(1) 数直線の1めもりが表している数はいくつでしょう。

(2) ア・イ・ウのめもりが表す数を書きましょう。

ア		イ		ウ	
---	--	---	--	---	--

(3) 5億, 26億を表すめもりに↑をかきましょう。

4 次の数を数字で書きましょう。

(1) 九兆八千八十八億六百万

()

5 次の数の読みかたを書きましょう。

(1) 7000684903400000

()

6 数字で書きましょう。

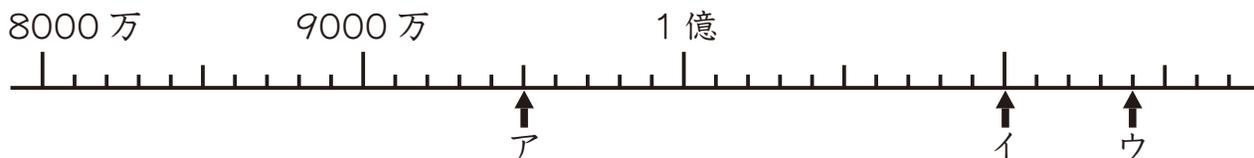
(1) 1億を84こ集めた数。

()

(2) 1兆を6こ, 1億を4こ, 10万を3こ集めた数。

()

7 次の数直線について答えましょう。



(1) ア・イ・ウのめもりが表す数を書きましょう。

ア		イ		ウ	
---	--	---	--	---	--

(2) 8600万, 1億300万を表すめもりに↑をかきましょう。

整数のしくみ

【ポイント】

整数を10倍にすると、位は1けたずつ上がります。

また、 $\frac{1}{10}$ にすると、位は1けたずつ下がります。

1 数を10倍したときと、10でわったときの位の変わり方を調べましょう。

(1) 15億を10倍した数と、15億を10でわった数を表に書きましょう。

	億				万											
① 15億を10倍した数																
15億			1	5	0	0	0	0	0	0	0	0				
② 15億を10でわった数																

2 下の表を見て、()に当てはまる数を書きましょう。

千				百				十				一			
千				百				十				一			
兆				億				万							

(1) 位が1つ左に進むごとに何倍になっていますか。 () 倍

3 ()にあてはまる数を書きましょう。

(1) 1000億の10倍の数は()です。

(2) 1兆を $\frac{1}{10}$ にした数は()です。

(3) 1兆は1億の()倍の数です。

(4) 5兆を10倍した数は()で、 $\frac{1}{10}$ にした数は()です。

(5) 480000000は、10000000を()こ集めた数です。

【ポイント】

0, 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9の10この数字を使うと、
どんな大きさの整数でも表すことができます。

4 0から9までの数字のカードがあります。



(1) どれも1回ずつ使って10けたの数を作ります。

① 一番大きい数を作しましょう。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

② 一番小さい数を作しましょう。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

(2) 9けたの数を作ります。ただし、同じカードは1回しか使えません。

① 一番大きい数を作しましょう。

--	--	--	--	--	--	--	--	--

② 一番小さい数を作しましょう。

--	--	--	--	--	--	--	--	--

(3) 同じカードを何回使ってもよいことにします。

① いちばん大きい10けたの整数はいくつですか。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

② いちばん小さい10けたの整数はいくつですか。

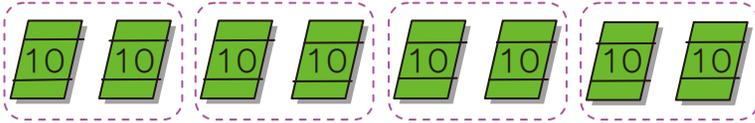
--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

何十でわる計算

【ポイント】

10 をもとにして考えると、 $80 \div 20$ の商は、 $8 \div 2$ の計算で求められます。

- 1 80まいの色紙を1人に20まいずつ分けると、何人に分けられますか。



- (1) $80 \div 20$ の計算のしかたを、□にあう数を入れて考えましょう。

80 は、10 のたばが □ こぶん

20 は、10 のたばが □ こぶん

10 のたばをもとに考えると $80 \div 20 \Rightarrow \square \div \square = \square$

$80 \div 20$ の答えは、□ になる。

(2) 〈式〉 $80 \div 20 = \square$

答え _____

- 2 計算をしましょう。

(1) $60 \div 20$

(2) $90 \div 30$

(3) $360 \div 60$

(4) $720 \div 90$

(5) $400 \div 80$

(6) $300 \div 60$

(7) $200 \div 50$

(8) $400 \div 50$

3 計算をしましょう。

(1) $90 \div 40$

(2) $50 \div 30$

(3) $70 \div 20$

(4) $80 \div 30$

(5) $90 \div 50$

(6) $60 \div 40$

(7) $260 \div 40$

(8) $140 \div 30$

(9) $410 \div 80$

(10) $370 \div 50$

(11) $650 \div 70$

(12) $590 \div 80$

(13) $300 \div 90$

(14) $600 \div 80$

(15) $200 \div 70$

(16) $400 \div 60$

(17) $700 \div 80$

(18) $800 \div 90$

(19) $2100 \div 40$

(20) $3700 \div 70$

2けたの数でわる筆算 (1)

【ポイント】

65 ÷ 21 のような計算は、わる数を何十とみて、商の見当をつけます。

1 □にあう数を入れましょう。

65 ÷ 21 の筆算のしかたを考えよう。

(1) わる数の21を20とみて、商の見当をつける。

21を20とみると、 $20 \times 3 = 60$ だから

見当をつけた商の□を一の位にたてる。

(2) $21 \times \square = \square$

(3) $65 - \square = \square$

(4) 65 ÷ 21 の答えは、□あまり□になる。

2 計算をしましょう。

(1)

$$32 \overline{)97}$$

(2)

$$41 \overline{)89}$$

(3)

$$54 \overline{)73}$$

(4)

$$64 \overline{)92}$$

(5)

$$11 \overline{)68}$$

(6)

$$23 \overline{)54}$$

2けたの数でわる筆算 (2)

【ポイント】

かりの商が大きすぎたときは、商を小さくしていきます。

$$\begin{array}{r} 4 \\ 22 \overline{) 85} \\ \underline{88} \end{array}$$

大きすぎた

1小さくする

$$\begin{array}{r} 3 \\ 22 \overline{) 85} \\ \underline{66} \\ 19 \end{array}$$

ひけない

1 計算をしましょう。

(1)

$$31 \overline{) 92}$$

(2)

$$24 \overline{) 86}$$

(3)

$$13 \overline{) 68}$$

(4)

$$14 \overline{) 53}$$

(5)

$$12 \overline{) 88}$$

(6)

$$13 \overline{) 77}$$

(7)

$$11 \overline{) 43}$$

(8)

$$31 \overline{) 85}$$

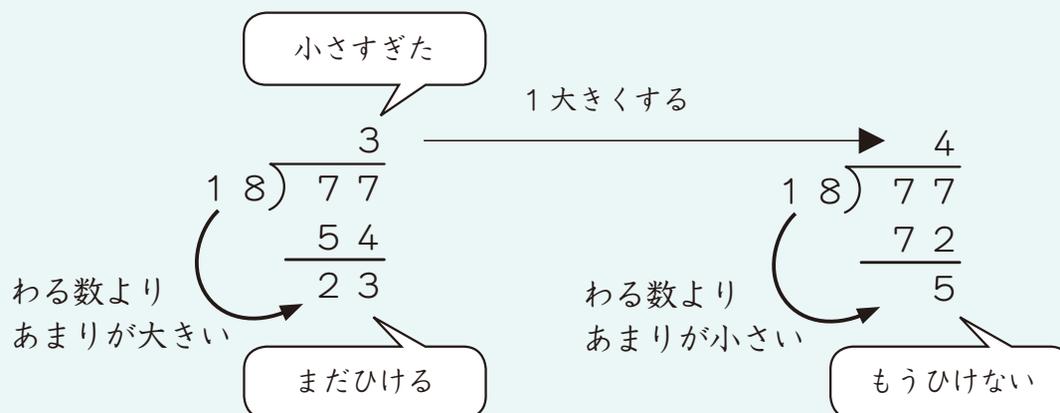
(9)

$$22 \overline{) 78}$$

2けたの数でわる筆算 (3)

【ポイント】

かりの商が小さすぎたときは、商を大きくしていきます。



1 計算をしましょう。

(1)

$$16 \overline{)52}$$

(2)

$$27 \overline{)58}$$

(3)

$$27 \overline{)89}$$

(4)

$$19 \overline{)96}$$

(5)

$$17 \overline{)39}$$

(6)

$$17 \overline{)97}$$

(7)

$$16 \overline{)49}$$

(8)

$$26 \overline{)79}$$

(9)

$$16 \overline{)68}$$

2けたの数でわる筆算 (4)

1 計算をしましょう。

(1)

$$74 \overline{)666}$$

(2)

$$52 \overline{)260}$$

(3)

$$42 \overline{)294}$$

(4)

$$84 \overline{)492}$$

(5)

$$33 \overline{)283}$$

(6)

$$68 \overline{)362}$$

(7)

$$43 \overline{)334}$$

(8)

$$62 \overline{)190}$$

(9)

$$35 \overline{)158}$$

(10)

$$17 \overline{)117}$$

(11)

$$86 \overline{)417}$$

(12)

$$43 \overline{)215}$$

2けたの数でわる筆算 (5)

1 □にあう数を入れましょう。

457 ÷ 31 の筆算のしかたを考えよう。

百の位
の計算

(1) 4 ÷ 31 だから、百の位に商はたたない。

十の位
の計算

(2) 45 ÷ 31 で、十の位に商 をたてる。

(3) $31 \times \square = \square$, $45 - \square = \square$

(4) 7をおろす。

一の位
の計算

(5) 次に、147 ÷ 31 で、一の位に商 をたてる。

(6) $31 \times \square = \square$

$147 - \square = \square$

(7) 457 ÷ 31 の答えは、

あまり になる。

①百の位の計算

$$\begin{array}{r} 31 \overline{) 457} \end{array}$$

②十の位の計算

$$\begin{array}{r} 14 \\ 31 \overline{) 457} \\ \underline{31} \\ 147 \end{array}$$

③一の位の計算

$$\begin{array}{r} 14 \\ 31 \overline{) 457} \\ \underline{31} \\ 147 \\ \underline{124} \\ 23 \end{array}$$

2 計算をしましょう。

(1)

(2)

(3)

$$23 \overline{) 795}$$

$$37 \overline{) 786}$$

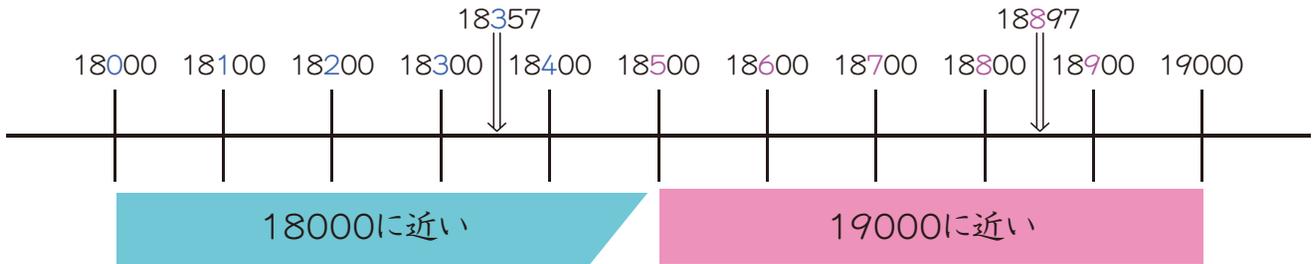
$$42 \overline{) 852}$$

およその数の表し方

【ポイント】

四捨五入 0, 1, 2, 3, 4, は 切り捨てる 5, 6, 7, 8, 9 は 切り上げる

1 四捨五入して、千の位までのがい数で表しましょう。



(1) 18357

①百の位の数字は である。

②3は切り捨てだから 約

(2) 18897

①百の位の数字は である。

②8は切り上げだから 約

【ポイント】

千の位までのがい数にするには、一つ下の百の位を四捨五入してもとめます。

2 四捨五入をして、千の位までのがい数で表しましょう。

(1) 52754

答え _____

(2) 24193

答え _____

(3) 71468

答え _____

(4) 23560

答え _____

(5) 68098

答え _____

(6) 158425

答え _____

(7) 4717731

答え _____

3 次の数を四捨五入して、() の位までのがい数で表しましょう。

(1) 532071 (一万)

答え

(2) 168098 (一万)

答え

(3) 157425 (千)

答え

(4) 471773 (千)

答え

(5) 8479063 (百)

答え

(6) 23560 (百)

答え

4 つぎの数を四捨五入して、上から1けた、または、上から2けたの
がい数で表しましょう。

(1) 68098 (上から1けた)

答え

(2) 158425 (上から1けた)

答え

(3) 4717731 (上から1けた)

答え

(4) 841902 (上から2けた)

答え

(5) 972564 (上から2けた)

答え

(6) 218663 (上から2けた)

答え

小数の表し方

1 1と0.1, 0.01, 0.001の関係を考えましょう。

()にあてはまる数を入れましょう。

(1) 0.1 1の ()

(2) 0.01 1の ()

(3) 0.001 1の ()

2 7.634のしくみを考えましょう。

7.634は, 1, 0.1, 0.01, 0.001をそれぞれ何こ集めた数ですか。

(1) 1 が () こ

(2) 0.1 が () こ

(3) 0.01 が () こ

(4) 0.001 が () こ

3 8.253の位取りを考えましょう。

(1) それぞれの位の名前を書きましょう。

8.	2	5	3
⋮	⋮	⋮	⋮
((((
))))
の	の	の	の
位	位	位	位

(2) 5.047の4は何の位の数字ですか。 () の位

(3) 5.047の $\frac{1}{1000}$ の位の数字は何ですか。 ()

4 次の数は、0.01 を何こ集めた数ですか。

(1) 0.07 () (2) 0.15 ()

(3) 2.04 () (4) 3.8 ()

5 次の数を、小さい順にならべ、記号を書きましょう。

ア 4.63 イ 4.652 ウ 4.608 エ 4.6
(→ → →)

6 次の数は、いくつですか。

(1) 7 と 0.35 をあわせた数 ()

(2) 6 より 0.03 小さい数 ()

(3) 2.5 より 0.06 大きい数 ()

(4) 1 を 2 こ、0.1 を 5 こ、0.01 を 7 こあわせた ()

(5) 0.01 を 529 こ集めた数 ()

(6) 0.01 を 270 こ集めた数 ()

7 次の数を 10 倍、 $\frac{1}{10}$ した数を書きましょう。

	▼ 10 倍	▼ $\frac{1}{10}$
(1) 290.3	()	()
(2) 400.4	()	()
(3) 15.6	()	()
(4) 0.81	()	()
(5) 3.8	()	()

小数のたし算

【ポイント】

2.46 + 4.13 の筆算のしかた

- ①位をそろえて書く。
- ②整数のたし算と同じように計算する。
- ③上の小数点にそろえて、和の小数点をうつ。

$$\begin{array}{r} 2.46 \\ + 4.13 \\ \hline 6.59 \end{array}$$

1 計算をしましょう。

(1)
$$\begin{array}{r} 3.28 \\ + 4.57 \\ \hline \end{array}$$

(2)
$$\begin{array}{r} 1.47 \\ + 3.89 \\ \hline \end{array}$$

(3)
$$\begin{array}{r} 0.96 \\ + 0.39 \\ \hline \end{array}$$

(4)
$$\begin{array}{r} 1.79 \\ + 3.85 \\ \hline \end{array}$$

(5)
$$\begin{array}{r} 35.06 \\ + 7.37 \\ \hline \end{array}$$

(6)
$$\begin{array}{r} 9.96 \\ + 41.08 \\ \hline \end{array}$$

(7)
$$\begin{array}{r} 2.021 \\ + 6.897 \\ \hline \end{array}$$

(8)
$$\begin{array}{r} 3.967 \\ + 6.259 \\ \hline \end{array}$$

(9)
$$\begin{array}{r} 0.875 \\ + 7.609 \\ \hline \end{array}$$

【ポイント】

① $1.238 + 2.462$ の計算のしかた

② $4.3 + 0.826$ の計算のしかた

$$\begin{array}{r} 1.238 \\ + 2.462 \\ \hline 3.700 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 4.300 \\ + 0.826 \\ \hline 5.126 \end{array}$$

答えの最後の0は、消してよい。

4.3を4.300と考えて計算する。

2 計算をしましょう。

(1)
$$\begin{array}{r} 8.38 \\ + 6.62 \\ \hline \end{array}$$

(2)
$$\begin{array}{r} 0.065 \\ + 0.595 \\ \hline \end{array}$$

(3)
$$\begin{array}{r} 0.051 \\ + 0.049 \\ \hline \end{array}$$

(4)
$$\begin{array}{r} 12.98 \\ + 7.02 \\ \hline \end{array}$$

(5)
$$\begin{array}{r} 6.45 \\ + 6.9 \\ \hline \end{array}$$

(6)
$$\begin{array}{r} 4.1 \\ + 4.907 \\ \hline \end{array}$$

(7)
$$\begin{array}{r} 53.3 \\ + 9.89 \\ \hline \end{array}$$

(8)
$$\begin{array}{r} 65 \\ + 6.04 \\ \hline \end{array}$$

(9)
$$\begin{array}{r} 3 \\ + 9.36 \\ \hline \end{array}$$

小数のひき算

【ポイント】

4.75 - 3.87 の筆算のしかた

- ①位をそろえて書く。
 - ②整数のひき算と同じように計算する。
 - ③上の小数点にそろえて、差の小数点をうつ。
- ※一の位に0をつける。

$$\begin{array}{r} 4.75 \\ - 3.87 \\ \hline 0.88 \end{array}$$

1 計算をしましょう。

(1)
$$\begin{array}{r} 8.51 \\ - 2.26 \\ \hline \end{array}$$

(2)
$$\begin{array}{r} 6.75 \\ - 4.97 \\ \hline \end{array}$$

(3)
$$\begin{array}{r} 5.03 \\ - 0.46 \\ \hline \end{array}$$

(4)
$$\begin{array}{r} 8.35 \\ - 7.62 \\ \hline \end{array}$$

(5)
$$\begin{array}{r} 64.22 \\ - 5.9 \\ \hline \end{array}$$

(6)
$$\begin{array}{r} 5.43 \\ - 4.88 \\ \hline \end{array}$$

(7)
$$\begin{array}{r} 6.03 \\ - 3.55 \\ \hline \end{array}$$

(8)
$$\begin{array}{r} 21.17 \\ - 9.6 \\ \hline \end{array}$$

(9)
$$\begin{array}{r} 8.37 \\ - 7.99 \\ \hline \end{array}$$

【ポイント】

① $5.1 - 3.46$ の計算のしかた

$$\begin{array}{r} 5.10 \\ - 3.46 \\ \hline 1.64 \end{array}$$

5.1 を 5.10 と考えて
計算する。

② $4 - 0.36$ の計算のしかた

$$\begin{array}{r} 4.00 \\ - 0.36 \\ \hline 3.64 \end{array}$$

4 を 4.00 と考えて
計算する。

2 計算をしましょう。

(1)
$$\begin{array}{r} 0.5 \\ - 0.28 \\ \hline \end{array}$$

(2)
$$\begin{array}{r} 5.5 \\ - 0.96 \\ \hline \end{array}$$

(3)
$$\begin{array}{r} 8.24 \\ - 0.447 \\ \hline \end{array}$$

(4)
$$\begin{array}{r} 31.5 \\ - 3.65 \\ \hline \end{array}$$

(5)
$$\begin{array}{r} 69.21 \\ - 0.96 \\ \hline \end{array}$$

(6)
$$\begin{array}{r} 2.16 \\ - 2.139 \\ \hline \end{array}$$

(7)
$$\begin{array}{r} 8 \\ - 5.61 \\ \hline \end{array}$$

(8)
$$\begin{array}{r} 76 \\ - 0.27 \\ \hline \end{array}$$

(9)
$$\begin{array}{r} 1 \\ - 0.988 \\ \hline \end{array}$$

小数のかけ算 (1)

【ポイント】

小数のかけ算は、0.1 をもとにして考えます。

0.3 × 4 の計算のしかた

0.3 は 0.1 の 3 こぶん



0.1 をもとに考えると $3 \times 4 = 12$



0.1 が 12 こぶんで、1.2 だから、 $0.3 \times 4 = 1.2$

1 計算しましょう。

(1) 0.2×6

(2) 0.8×3

(3) 0.5×5

(4) 0.4×9

【ポイント】

4.3 × 6 の筆算のしかた

(1)
$$\begin{array}{r} 4.3 \\ \times 6 \\ \hline \end{array}$$



(2)
$$\begin{array}{r} 4.3 \\ \times 6 \\ \hline 258 \end{array}$$



(3)
$$\begin{array}{r} 4.3 \\ \times 6 \\ \hline 25\downarrow 8 \end{array}$$

4.3 の 3 の下に
6 を書く。

整数のかけ算と
同じように計算する。

かけられる数にそろえて、積の小数点をうつ。

2 計算をしましょう。

(1)
$$\begin{array}{r} 1.9 \\ \times 4 \\ \hline \end{array}$$

(2)
$$\begin{array}{r} 2.8 \\ \times 7 \\ \hline \end{array}$$

(3)
$$\begin{array}{r} 5.6 \\ \times 9 \\ \hline \end{array}$$

(4)
$$\begin{array}{r} 14.6 \\ \times 4 \\ \hline \end{array}$$

(5)
$$\begin{array}{r} 19.8 \\ \times 7 \\ \hline \end{array}$$

(6)
$$\begin{array}{r} 26.8 \\ \times 4 \\ \hline \end{array}$$

小数のかけ算 (2)

【ポイント】

小数点以下の0は消すことができます。

(例)

$$\begin{array}{r} \textcircled{1} \quad 0.3 \\ \times \quad 2 \\ \hline \end{array}$$

1の位の0は消さない → 0.6

$$\begin{array}{r} \textcircled{2} \quad 0.6 \\ \times \quad 5 \\ \hline 3.0 \end{array}$$

← 0を消す

$$\begin{array}{r} \textcircled{3} \quad 4.5 \\ \times \quad 4 \\ \hline 18.0 \end{array}$$

← 0を消す

1 筆算で計算をしましょう。

$$\begin{array}{r} (1) \quad 0.7 \\ \times \quad 6 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} (2) \quad 0.8 \\ \times \quad 5 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} (3) \quad 7.5 \\ \times \quad 6 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} (4) \quad 6.8 \\ \times \quad 24 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} (5) \quad 0.7 \\ \times \quad 48 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} (6) \quad 6.8 \\ \times \quad 35 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} (7) \quad 24.3 \\ \times \quad 19 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} (8) \quad 65.2 \\ \times \quad 25 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} (9) \quad 72.5 \\ \times \quad 80 \\ \hline \end{array}$$

小数のかけ算 (3)

【ポイント】

2.35 × 3 の積は、2.35 を 100 倍して 235 × 3 の計算をし、その積を 100 でわれば求められます。

1 □にあう数を入れましょう。

2.35 × 3 の計算のしかたを考えよう。

$$\begin{array}{r} 2.35 \times 3 = \boxed{} \\ \downarrow \times 100 \\ 235 \times 3 = \uparrow \div 100 \\ 705 \end{array}$$

2 筆算で計算をしましょう。

$$\begin{array}{r} (1) \quad 1.32 \\ \times \quad 4 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} (2) \quad 5.16 \\ \times \quad 8 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} (3) \quad 0.18 \\ \times \quad 4 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} (4) \quad 2.56 \\ \times \quad 26 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} (5) \quad 5.06 \\ \times \quad 32 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} (6) \quad 3.14 \\ \times \quad 40 \\ \hline \end{array}$$

3 $856 \times 4 = 3424$ をもとにして、次の積を求めましょう。

$$(1) \quad 8.56 \times 4$$

$$(2) \quad 85.6 \times 4$$

$$(3) \quad 0.856 \times 4$$

小数のわり算 (1)

【ポイント】

小数のわり算は、0.1 をもとにして考えます。

2.4 ÷ 2 の計算のしかた

2.4 は 0.1 が 24 こぶん

↓

0.1 をもとに考えると $24 \div 2 = 12$

↓

0.1 が 12 こぶんで、1.2 だから、 $2.4 \div 2 = 1.2$

1 計算をしましょう。

(1) $2.8 \div 2$

(2) $8.4 \div 4$

(3) $6.9 \div 3$

(4) $6.4 \div 2$

【ポイント】

5.7 ÷ 3 の筆算のしかた

$$\begin{array}{r} 1 \\ 3 \overline{) 5.7} \\ \underline{3} \\ 2 \end{array}$$

⇒

$$\begin{array}{r} 1 \\ 3 \overline{) 5.7} \\ \underline{3} \\ 2 \end{array}$$

⇒

$$\begin{array}{r} 1.9 \\ 3 \overline{) 5.7} \\ \underline{3} \\ 27 \\ \underline{27} \\ 0 \end{array}$$

一の位の5を3でわる。

わられる数の小数点にそろえて、商の小数点をうつ。

$\frac{1}{10}$ の位の7をおろし、27を3でわる。

2 筆算で計算をしましょう。

(1) $6 \overline{) 9.6}$

(2) $3 \overline{) 43.5}$

(3) $8 \overline{) 36.8}$

小数のわり算 (2)

1 筆算で計算をしましょう。

(1)

$$9 \overline{) 4.5}$$

(2)

$$8 \overline{) 6.4}$$

(3)

$$17 \overline{) 25.5}$$

(4)

$$41 \overline{) 86.1}$$

(5)

$$4 \overline{) 9.48}$$

(6)

$$5 \overline{) 0.35}$$

【ポイント】

小数のわり算であまりを考えると、
あまりの小数点は、わられる数の
小数点にそろえてうちます。

$$\begin{array}{r} 5 \\ 7 \overline{) 36.8} \\ \underline{35} \\ 1 \downarrow 8 \end{array}$$

2 商は一の位まで求め、あまりも出しましょう。

(1)

$$7 \overline{) 25.8}$$

(2)

$$9 \overline{) 62.3}$$

(3)

$$13 \overline{) 50.6}$$

小数のわり算 (3)

【ポイント】

2.6 ÷ 5 の計算を、わりきれぬまでするとき、
2.6 を 2.60 と考えて、計算を続けます。

$$\begin{array}{r}
 0.5 \\
 5 \overline{) 2.6} \\
 \underline{2.5} \\
 1
 \end{array}
 \quad \Rightarrow \quad
 \begin{array}{r}
 0.52 \\
 5 \overline{) 2.60} \\
 \underline{2.5} \\
 10 \\
 \underline{10} \\
 0
 \end{array}$$

1 わりきれぬまで計算しましょう。

(1)

$$5 \overline{) 7.4}$$

(2)

$$5 \overline{) 3.2}$$

(3)

$$5 \overline{) 0.2}$$

(4)

$$18 \overline{) 38.7}$$

(5)

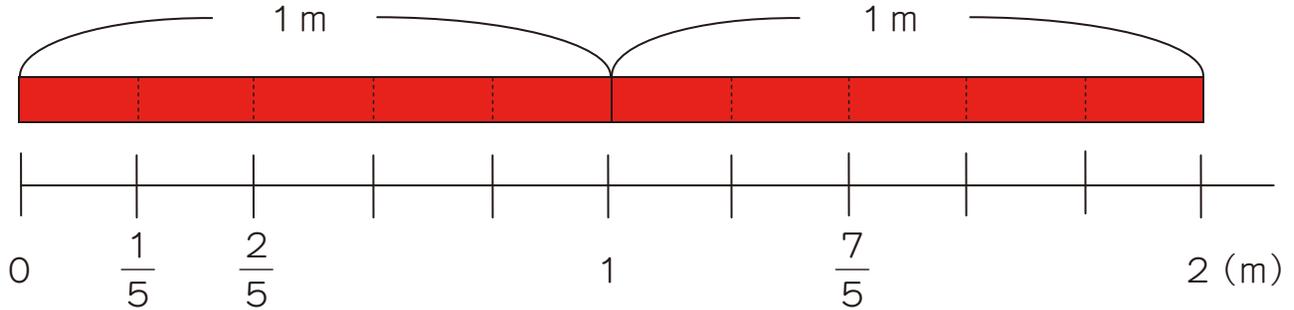
$$8 \overline{) 3}$$

(6)

$$25 \overline{) 3}$$

分数の表し方

1 1より大きい分数の表し方を考えましょう。



(1) $\frac{1}{5}$ mの5こぶんの長さは、 $\frac{\square}{5}$ m = \square mです。

(2) $\frac{8}{5}$ mは1 mと $\frac{3}{5}$ mなので、 $\square \frac{\square}{5}$ mと表すこともあります。

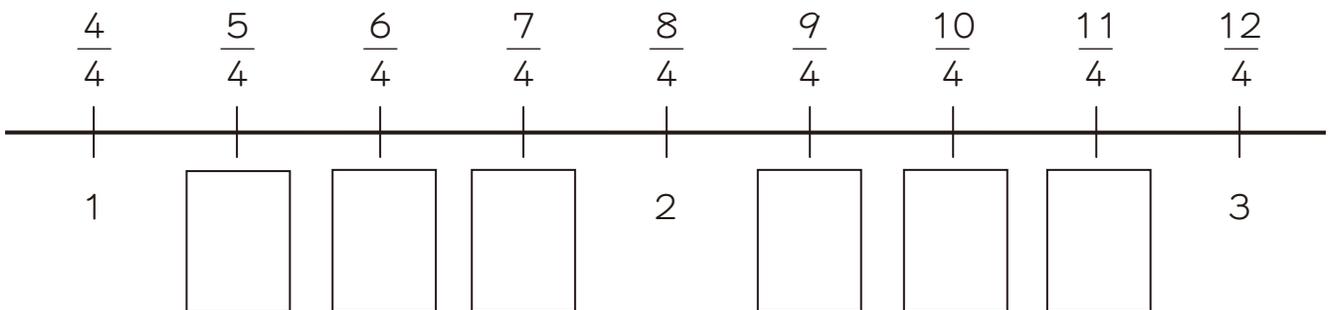
【ポイント】

$\frac{1}{3}$ や $\frac{2}{5}$ のように分子が分母より小さい分数 しんぶんすう **真分数**

$\frac{5}{5}$ や $\frac{8}{5}$ のように分子と分母が等しいか、分子が分母より大きい分数 かぶんすう **仮分数**

$1\frac{4}{5}$ や $2\frac{2}{5}$ のように、整数と真分数の和で表されている分数 たいぶんすう **帯分数**

2 \square にあてはまる帯分数を書きましょう。

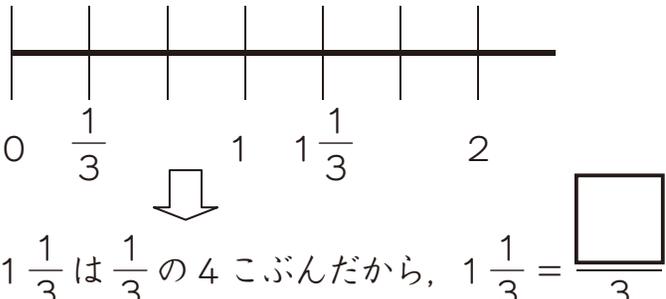


【ポイント】

分数の大きさを比べるには、仮分数を帯分数になおしたり、帯分数を仮分数になおしたりします。

3 $\frac{5}{3}$ と $1\frac{1}{3}$ では、どちらが大きいですか。

□にあう数を入れて考えましょう。

<p>〈考え方 1〉</p> <p>$\frac{5}{3}$ を帯分数になおす。</p> <p>$5 \div 3 = \square$ あまり \square</p> <p>だから、$\frac{5}{3} = \square \frac{\square}{\square}$</p> <p>$\frac{5}{3}$ と $1\frac{1}{3}$ とでは、\square が大きい。</p>	<p>〈考え方 2〉</p> <p>$1\frac{1}{3}$ を仮分数になおす。</p>  <p>$1\frac{1}{3}$ は $\frac{1}{3}$ の 4 こぶんだから、$1\frac{1}{3} = \frac{\square}{3}$</p> <p>$\frac{5}{3}$ と $1\frac{1}{3}$ とでは、\square が大きい。</p>
---	---

4 次の仮分数を、帯分数になおしましょう。

(1) $\frac{5}{3} = \square$ (2) $\frac{7}{4} = \square$ (3) $\frac{10}{7} = \square$ (4) $\frac{16}{5} = \square$ (5) $\frac{20}{6} = \square$

5 次の帯分数を、仮分数になおしましょう。

(1) $1\frac{1}{3} = \square$ (2) $2\frac{3}{9} = \square$ (3) $3\frac{2}{7} = \square$ (4) $3\frac{7}{8} = \square$

6 どちらの分数が大きいでしょうか。□に不等号を書きましょう。

(1) $\frac{27}{4} \square 6\frac{2}{4}$ (2) $3\frac{2}{5} \square \frac{18}{5}$

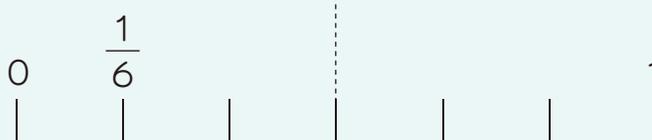
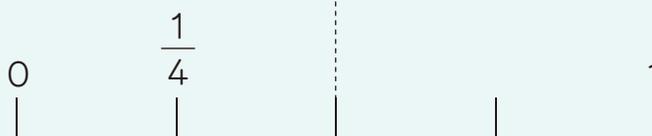
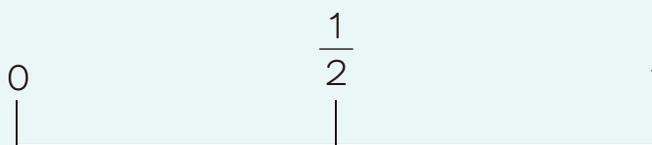
大きさの等しい分数

【ポイント】

分数は、1つの大きさをいろいろな表し方で表すことができます。

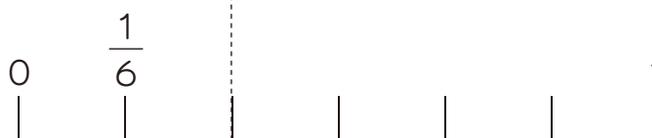
(例)

$$\frac{1}{2} = \frac{2}{4} = \frac{3}{6}$$



1 □にあてはまる数を書きましょう。

$$\frac{1}{3} = \frac{2}{\square} = \frac{\square}{12}$$



2 ()の中の分数を、大きいほうから順に書きましょう。

(1) $\left[\frac{1}{4}, \frac{1}{3}, \frac{1}{5} \right]$

答え $\left[\quad \quad \quad \right]$

(2) $\left[\frac{3}{6}, \frac{3}{4}, \frac{3}{9} \right]$

答え $\left[\quad \quad \quad \right]$

分数のたし算とひき算 (1)

【ポイント】

分母が同じ分数のたし算では、分母をそのままにして、分子だけをたして計算します。

1 □にあう数を入れましょう。

$\frac{4}{5} + \frac{2}{5}$ の計算のしかたを考えよう。

$\frac{4}{5}$ は $\frac{1}{5}$ の □ こぶん

$\frac{2}{5}$ は $\frac{1}{5}$ の □ こぶん

↓
合わせて $\frac{1}{5}$ が □ こぶんだから、 □

↓
 $\frac{4}{5} + \frac{2}{5} = \frac{\quad}{\quad} (\quad \frac{\quad}{\quad})$

2 計算しましょう。

(1) $\frac{3}{4} + \frac{3}{4}$

(2) $\frac{4}{7} + \frac{9}{7}$

(3) $\frac{7}{6} + \frac{4}{6}$

(4) $\frac{6}{5} + \frac{7}{5}$

(5) $\frac{6}{4} + \frac{2}{4}$

(6) $\frac{6}{8} + \frac{10}{8}$

(7) $\frac{5}{4} - \frac{2}{4}$

(8) $\frac{9}{7} - \frac{3}{7}$

(9) $\frac{12}{8} - \frac{4}{8}$

分数のたし算 (2)

【ポイント】

帯分数のたし算には、帯分数を整数部分と分数部分に分けて計算するやり方と、帯分数を仮分数になおして計算するやり方があります。

1 □にあう数を入れましょう。

$1\frac{2}{4} + \frac{3}{4}$ の計算のしかたを考えよう。

〈考え方 1〉

帯分数を、整数部分と分数部分に分ける。

$$1\frac{2}{4} + \frac{3}{4} = 1\frac{\square}{\square}$$

$$= \square\frac{\square}{\square}$$

〈考え方 2〉

帯分数を、仮分数になおす。

$$1\frac{2}{4} = \frac{\square}{\square} \text{ だから,}$$

$$1\frac{2}{4} + \frac{3}{4} = \frac{\square}{\square} + \frac{3}{4}$$

$$= \frac{\square}{\square} = \square\frac{\square}{\square}$$

2 計算をしましょう。

(1) $1\frac{3}{5} + \frac{1}{5}$

(2) $1\frac{3}{7} + 2\frac{2}{7}$

(3) $1\frac{7}{9} + 1\frac{2}{9}$

(4) $3\frac{2}{4} + 1\frac{1}{4}$

(5) $1\frac{3}{7} + \frac{5}{7}$

(6) $2\frac{1}{3} + 1\frac{2}{3}$

分数のひき算

【ポイント】

帯分数のひき算には、帯分数の分数部分を、仮分数にして計算するやり方と帯分数を仮分数になおして計算するやり方があります。

1 □にあう数を入れましょう。

$2\frac{1}{7} - \frac{6}{7}$ の計算のしかたを考えよう。

〈考え方 1〉

帯分数の分数部分を、仮分数にする。

$$2\frac{1}{7} - \frac{6}{7} = 1\frac{\square}{\square} - \frac{6}{7}$$

$$= \square\frac{\square}{\square}$$

〈考え方 2〉

帯分数を、仮分数になおす。

$$2\frac{1}{7} = \frac{\square}{\square} \text{ だから,}$$

$$2\frac{1}{7} - \frac{6}{7} = \frac{\square}{\square} - \frac{6}{7}$$

$$= \frac{\square}{\square} = \square\frac{\square}{\square}$$

2 計算をしましょう。

(1) $1\frac{3}{5} - \frac{2}{5}$

(2) $2\frac{3}{6} - \frac{5}{6}$

(3) $1\frac{4}{9} - \frac{8}{9}$

(4) $2 - \frac{2}{3}$

(5) $3\frac{5}{8} - \frac{3}{8}$

(6) $6\frac{3}{7} - 2$

しあげのもんだい

1 計算をしましょう。

$$(1) \frac{2}{5} + \frac{6}{5}$$

$$(2) \frac{8}{6} + \frac{9}{6}$$

$$(3) \frac{5}{4} + \frac{5}{4}$$

$$(4) 1\frac{1}{5} + \frac{2}{5}$$

$$(5) 1\frac{5}{6} + \frac{4}{6}$$

$$(6) 1\frac{2}{7} + 2\frac{3}{7}$$

$$(7) \frac{6}{5} - \frac{3}{5}$$

$$(8) \frac{6}{4} - \frac{2}{4}$$

$$(9) \frac{11}{3} - \frac{6}{3}$$

$$(10) 2\frac{2}{3} - \frac{1}{3}$$

$$(11) 2\frac{2}{4} - \frac{3}{4}$$

$$(12) 3\frac{7}{8} - 2\frac{2}{8}$$

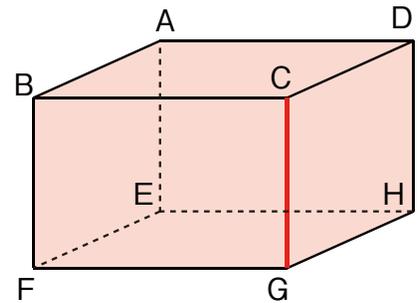
直方体と立方体

【ポイント】

長方形だけで囲まれた形や、長方形と正方形で囲まれた形を^{ちよくほうたい}直方体とといいます。
正方形だけで囲まれた形を^{りっぽうたい}立方体とといいます。

1 右の図は、長方形だけで囲まれた形です。

(1) 何という形ですか。



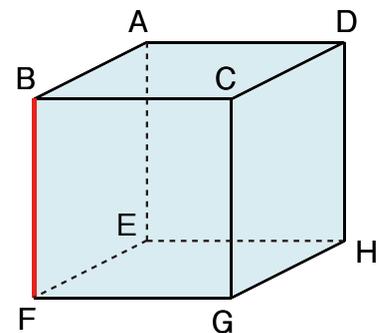
(2) 面, 辺, 頂点の数は, それぞれ
いくつですか。

面 辺 頂点

(3) 頂点 C を通って, 辺 CG に垂直な辺をすべて書きましょう。

2 右の図は正方形だけで囲まれた形です。

(1) 何という形ですか。



(2) 面, 辺, 頂点の数は, それぞれ
いくつですか。

面 辺 頂点

(3) 辺 BF に垂直な面をすべて書きましょう。

面 , 面

目次

- 1 わり算の筆算 (1) P.1
【わり算のしかたを考えよう】
*教科書 (上) P.39 ~ 58
- 2 垂直・平行と四角形 P.11
【四角形を調べよう】
*教科書 (上) P.61 ~ 83
- 3 大きい数のしくみ P.14
【1億より大きい数を調べよう】
*教科書 (上) P.89 ~ 98
- 4 わり算の筆算 (2) P.18
【わり算の筆算を考えよう】
*教科書 (上) P.101 ~ 116
- 5 がい数の表し方 P.25
【およその数の表し方考えよう】
*教科書 (上) P.119 ~ 130
- 6 小数のしくみ P.27
【小数のしくみを調べよう】
*教科書 (下) P.31 ~ 45
- 7 小数のかけ算とわり算 P.33
【小数のかけ算とわり算を考えよう】
*教科書 (下) P.55 ~ 74
- 8 分数 P.39
【分数をくわしく調べよう】
*教科書 (下) P.79 ~ 89
- 9 直方体と立方体 P.46
【箱の形を調べよう】
*教科書 (下) P.91 ~ 102
- 10 「草加っ子の基礎・基本」算数検証問題 ... P.47

算数スイスイ４年生

編 集 草加市算数・数学学力向上プロジェクトチーム

事務局 草加市教育委員会 教育総務部 指導課

発 行 草加市教育委員会
草加市高砂 1-1-1
TEL 048-922-2748

発行日 平成28年5月

